

第 98 回香川県新型コロナウイルス対策本部会議  
持ち回り（書面）開催 議事概要

日付 令和 4 年 2 月 17 日（木）

議題 1 「本県の現状について」

[結果]

2 月 16 日時点の本県の現状は、確保病床使用率が 51.1%、重症確保病床使用率が 10.0%、療養者数が 2,898 人、直近 1 週間の累積新規感染者数が 2,358 人となっており、確保病床使用率、療養者数及び直近 1 週間の累積新規感染者数ともに、国のレベル分類で 3 の基準を超えている。

また、昨日判明した新規感染者数は 408 人であり、3 日連続で 400 人を超え、直近 1 週間の累積新規感染者数についても、今週は 2,358 人と、前週の 2,355 人とから若干増加している。

感染者の状況等について、2 月 16 日発生分としては、年代別では、10 歳未満が 13%、10 歳代が 16%、20 歳代が 13%、30 歳代が 14%となっており、30 歳代以下の若年層が全体の 56%を占めており、年代別では 10 歳代が最も高いものの、昨日よりも 3 ポイント減少している。

一方、70 歳代以上の感染者が 15%と、昨日よりも 4 ポイント増加しており、重症化リスクの高い高齢層への感染拡大が懸念される状況が、依然として続いている。

また、居住地別で見ると、高松市が 215 人で全体の 53%、次いで丸亀市が 34 人で 8%などとなっており、高松市と中讃地域での感染が多い状況は、総じて現在も続いている。

本県の感染状況については、新規感染者数が 3 日続けて 400 人を超えており、未だ感染拡大のピークに達したとは言えない状況であり、高松市や中讃地域に限らず、どの地域においても感染者が発生している状況である。

また、これまで感染の中心であった若年層から、徐々に中高年層に広がってきており、それに伴い、確保病床使用率も 50%を超えるなど、医療ひっ迫の状況が近づきつつあるものと考えている。

さらに、医療・介護施設や学校、保育所等において、クラスターが発生しているなど、全体として感染状況は高止まりの状況にあるものと認識している。

本県は現在、まん延防止等重点措置に伴う対策を引き続き実施しており、県民の皆さま、事業者の皆さまには、長期間ご負担をおかけしているが、オミクロン株であっても、「3密」回避や不織布マスクの着用など基本的な感染対策が有効であるとされているので、ぜひ可能な範囲で家庭内での対策を励行するほか、高齢者施設や学校、保育所等においては、感染力がこれまでとは違うということを念頭に置いて、より一層の感染対策を最大限実施していただくようお願いする。

こうした危機的な状況を一刻も早く食い止め、感染の拡大を極力抑えるとともに、保健医療提供体制の確保を通じて、県民の皆さまの健康、暮らしを守れるよう、全力で取り組んでいくので、ご理解、ご協力をお願いする。

## 議題2「学校における対応について」

### [結果]

県立学校において、2月21日（月）から3月6日（日）までの間、学校における滞在時間を減らすことにより、さらに対策を強化することとし、県立学校長に次のとおり追加の対策を通知する。

市町教育委員会にも、県立学校の対応を通知し、実情に応じた対策の強化を依頼する。

#### 1 半日授業の実施（県立中・高等学校）

2月21日（月）から3月6日（日）までの間、学校の実情に応じ、原則として、半日授業とすること。加えて、生徒の下校の際には、寄り道をせずまっすぐに帰宅することについて周知徹底すること。

#### 2 1日ないし2日間の臨時休業日の設定（県立中・高等学校）

2月21日（月）から3月6日（日）までの間において、学校の実情に応じ、原則として、1日ないし2日間の臨時休業日を設定すること。

#### 3 部活動の対応

2月21日（月）から3月6日（日）までの間、大会等への参加のための練習も含め練習を行わないこと。

#### 4 学校感染対策検査実施事業の活用と臨時休業の運用

感染者が発生した場合は、フローチャートに基づき、感染者と同じクラスや部活動の生徒等に対してPCR検査を行う「学校感染対策検査実施事業」を例外なく実施するとともに、検査中を含め迅速に学級閉鎖等の臨時休業を実施するなど、厳格な運用を行うこと。

当該事項は、書面審議により、原案どおり了承された。